

子育て支援プラン前期計画の検証について

第1節 多様な保育ニーズへの対応

安心して育児に取り組めるよう、子育てを地域全体で支えることが求められています。保育所や幼稚園における保育体制の整備充実に努めるとともに、多様な子育てニーズに対応した様々なサービスの提供や質の向上を図ります。

(1) 事業の実施状況

	総事業数	目標達成・完了事業数	うち廃止事業数	その他の事業数	うち廃止等事業数
数値目標のある事業	16	2	(0)	14	(1)
数値目標のない事業	9	0	(0)	9	(1)
合計	25	2	(0)	23	(2)

(2) 概況

約61%の保護者が保育サービスを利用している。保育所の統合・廃止等もあるが、市部を中心に保育所の新設もあり、在籍児童数に大きな変化はない。本県では、通常保育における待機児童はいない。幼稚園における預かり保育については拡大している。

延長保育、夜間保育及び休日保育など特別保育に関しては、地域によっては、ニーズが限られているケースもあり予定どおりの進捗状況に達していない。

放課後児童クラブは、数値目標を超え、待機児童も減少しているが、更なる充実が必要。

(3) 評価

第2節 子育てにかかる負担感の軽減

子育てに関する不安等から生ずる負担感や、子育てに要する経済的負担の大きいことが少子化の一因とされています。子どもの健やかな成長を支援し、子どもを生き育てることに喜びを感じることができる環境づくりを推進するため、子育てに関する相談体制や情報提供などの充実、子育てにかかる経済的負担の軽減に努めます。

(1) 事業の実施状況

	総事業数	目標達成・完了事業数	うち廃止事業数	その他の事業数	うち廃止等事業数
数値目標のある事業	4	0	(0)	4	(0)
数値目標のない事業	20	0	(0)	20	(1)
合計	24	0	(0)	24	(1)

(2) 概況

子育ての不安感や負担感を感じている親が約46%となっている。

悩みや不安の相談先は、親族や知人が多い。相談総合窓口の開設や電話相談の実施など相談体制は構築されているが、県民への一層の周知が必要。

子育て情報に関しては、親族、知人及び保育所から入手するケースが多い。子育てハンドブックの作成・配布や子育てネットなどにより子育て情報を発信しているが、子育てに必要な情報が効果的に提供できるよう内容の見直しが必要。

子育て支援センター等については、設置数が目標を下回っているが、認知度や利用希望は過半数を超えおり、今後とも充実が求められる。

経済的負担の軽減については、乳幼児医療費が平成20年度より窓口無料化となり、負担感の軽減が図られた。その他の事業についても、概ね計画どおりの進捗状況となっている。

(3) 評価

第3節 次代を担う子どもたちの健全育成

多様な人間関係を学び社会性をはぐくむ機会など、子どもたちの自立に不可欠な自然体験・社会体験の機会を一層充実し、様々な形で交流の場を設けることに努めます。また、若者の能力開発や就業支援を推進することにより、若者の職業的自立の促進に努めます。

子どもが健全な日常生活を送ることができるよう、子どもを取り巻く社会環境の浄化に努めます。

(1) 事業の実施状況

	総事業数	目標達成・完了事業数	うち廃止事業数	その他の事業数	うち廃止等事業数
数値目標のある事業	22	11	(3)	11	(0)
数値目標のない事業	41	11	(11)	30	(3)
合計	63	22	(14)	41	(3)

(2) 概況

人とのふれあいに関する各種事業については、着実な進捗が図られ、廃止された事業についても当初の目的は達成されている。今後とも市町村や各種団体と協力し、継続して実施する必要がある。

自然とのふれあいに関する事業は、数値目標を大幅に超える事業もあり、全体として着実な推進が図られている。引き続き、山梨の特性である豊かな自然を活用した子ども達の健全育成が求められる。

若者への就業支援など自立促進に向けた取り組みは、概ね進捗が図られているが、厳しい雇用情勢が続く中で、次代の親となる若者の就労支援などの対策を進める必要がある。

青少年の育成環境の整備は、教育委員会や警察等の関係機関の協力のもと、順調に事業が進捗している。

(3) 評価

第4節 支援を必要とする子どもたちへのきめ細かな取り組み

すべての子どもたちが家族の愛情や地域における温かい支援のもと、大切に育成される社会を創りあげていくため、親子間において最も深刻な問題である児童虐待の発生予防から虐待を受けた子どもの自立に至るまで総合的な対応を進めるとともに、ひとり親家庭の自立と障害児等の社会参加を促進するなど、支援を必要とする子どもたちへきめ細かな取り組みを推進します。

(1) 事業の実施状況

	総事業数	目標達成・完了事業数	うち廃止事業数	その他の事業数	うち廃止等事業数
数値目標のある事業	14	11	(0)	3	(0)
数値目標のない事業	27	5	(5)	22	(1)
合計	41	16	(5)	25	(1)

(2) 概況

児童虐待相談件数は、年々困難ケースを中心に増加している。引き続き、市町村や関係機関と協力した対応を行うとともに、児童虐待の早期発見に向けた啓発活動等を進めていく必要がある。

虐待を受けた児童については、迅速な対応と適切な保護が求められており、各種事業の進捗状況は良好である。今後とも施設の整備や里親による養育の拡充などについて、関係団体と協調し推進していく必要がある。

児童の自立支援に向けた取り組みに関する各種事業は着実な推進が図られている。今後とも保護者への対応等も含め、児童の関係機関と協力し各種事業を進めていく必要がある。

ひとり親家庭への支援に関する各種事業は順調な推進が図られており、今後とも関係団体と協力し着実な推進を図る必要がある。

障害児等への支援についても各種事業の着実な推進が図られている。

(3) 評価

第5節 親子の健康増進と小児医療の充実

母子保健は生涯を通じた健康の出発点であり、子どもを健やかに育てるための基盤となるものです。

妊娠、出産から育児まで、乳幼児の健やかな成長や健康の増進について指導助言を行うなど、親子の健康づくりを推進するとともに、保健・医療・福祉・教育が連携した思春期における心とからだの健康づくりや小児医療を充実するための体制づくりなどを推進します。

(1) 事業の実施状況

	総事業数	目標達成・完了事業数	うち廃止事業数	その他の事業数	うち廃止等事業数
数値目標のある事業	4	2	(0)	2	(0)
数値目標のない事業	35	2	(2)	33	(0)
合計	39	4	(2)	35	(0)

(2) 概況

母と子の健康づくりに関する各種事業に関しては、着実な推進が図られている。引き続き関係機関と協力し、事業の推進に努める必要がある。

思春期における健康づくりについては、普及啓発活動等着実な事業展開が図られている。

今後とも青少年の身心の健全な発達に向け薬物やたばこ対策などにも配慮しながら推進していく必要がある。

食育の推進についても、各種機関の協力のもと順調な事業展開が図られている。

小児医療に関しては、小児初期救急医療センターの整備などが実施され、円滑に運営されている。今後とも継続して実施する必要がある。

不妊治療に対する支援についても着実な推進が図られており、引き続き関係機関と協力し、情報提供や相談を進める必要がある。

(3) 評価

第6節 子どもたちを取り巻く教育環境の充実

一人ひとりの個性を伸ばし、自ら学び、自ら考える力や豊かな心、健康や体力などの生きる力」をはぐくむ学校教育を推進します。

また、「社会全体で子どもを育てる」という考え方にに基づき、家庭や地域の教育力の向上を図るため、家庭・地域・学校の連携による教育を推進します。

(1) 事業の実施状況

	総事業数	目標達成・完了事業数	うち廃止事業数	その他の事業数	うち廃止等事業数
数値目標のある事業	22	16	(8)	6	(0)
数値目標のない事業	29	5	(5)	24	(0)
合計	51	21	(13)	30	(0)

(2) 概況

確かな学力の向上に向けた取り組みについては、教育体制の整備等が進められ、着実な推進が図られている。

豊かな心の育成に関する事業については、目標を達成のうえ他の事業等への振替や統合により廃止された事業もあり概ね着実な推進が図られている。不登校児童に関する問題では、改善傾向が見られるため、引き続き支援を行う必要がある。

幼児教育、特別支援教育の充実については、概ね着実な推進が図られている。

家庭・地域の教育力の充実については、着実な推進が図られている。引き続き関係機関の連携のもと各種事業を展開していく必要がある。

スポーツ・健康教育、芸術文化活動に関する各種事業については、着実な推進が図られている。

(3) 評価

第7節 仕事と子育てを両立するための支援

男女がともに職業生活や家庭生活等における責任を果たしていけるよう、雇用の分野における均等な機会と待遇を確保するとともに、家族との時間を大切にできる職場環境など働き方の見直しにより、男性の育児参加を促し、仕事と子育ての両立を推進します。

(1) 事業の実施状況

	総事業数	目標達成・完了事業数	うち廃止事業数	その他の事業数	うち廃止等事業数
数値目標のある事業	2	1	(0)	1	(1)
数値目標のない事業	15	4	(4)	11	(0)
合計	17	5	(4)	12	(1)

(2) 概況

働きやすい職場づくりに関する各種事業については、着実に推進されているが、母親の就職希望のなかで、働きながら子育てをできる適当な仕事がないとする意見が35%程度あり、企業の子育てへの理解を一層進める必要がある。

出産前後に離職した母親は、43%に上るが、その内、働きやすい環境又は保育サービスと職場の理解があれば仕事を継続できたとする意見が37%あり、保育サービスの充実とともに職場の理解を深めるための啓発活動を進める必要がある。

企業に対する支援に関する各種事業については、着実に実施されている。

(3) 評価

第8節 子育てを安全・安心にできる環境づくり

妊婦や乳幼児を連れた人のため、街路や公共施設等のバリアフリー化を図り、子育てにやさしい環境づくりを推進します。また、身近な地域での犯罪を抑止するため、地域ぐるみの防犯活動を推進するなどの安全・安心なまちづくりや交通安全のための意識の普及・啓発、交通安全教育を推進します。

(1) 事業の実施状況

	総事業数	目標達成・完了事業数	うち廃止事業数	その他の事業数	うち廃止等事業数
数値目標のある事業	14	10	(1)	4	(1)
数値目標のない事業	13	2	(2)	11	(0)
合計	27	12	(3)	15	(1)

(2) 概況

子育てに優しい環境づくりに関する各種事業については、着実な推進が図られており、今後とも各種団体や関係機関と連携のもと各種事業を展開していく必要がある。

安全・安心なまちづくりの推進については、関係機関の連携のもと各種事業が着実に実施されている。

子育てを安全安心にできる環境づくりについては、関係機関の連携のもと普及啓発に関する各種事業が着実に推進されている。

(3) 評価